

英米言語文化コースの教育と研究のコンセプト および新任教員に期待するもの

【教育目標】

英米言語文化コースは、イギリス、アメリカ等の英語圏の言語・文学・文化を深く学ぶことを通して、異質・多様なものを理解し寛容かつ多元的に判断することができる受容力と、他者の考えを明晰に理解し自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシーと、今日のグローバル社会において多様な文化を理解し自らの文化を発信できる英語運用能力を持った豊かな国際感覚あふれるネオ・フマニスト（新しい時代の人文人）を育成します。

【教育カリキュラムの構成】

上記の目標を達成するために、本コースでは、次の2点を視野に入れた教育カリキュラムを展開しています。

1. 英語学と英語文学に関しては、まず基礎科目の概論科目、「英語学概論」と「英語文学概論」において、それぞれの学問領域を概括的に理解し、基礎的な知識と思考法を学習します。

次に「英語学特論」「英語文学特論」および「英語史」「異文化間コミュニケーション論」において、それぞれの概論系の授業で学んだ概括的・基礎的な知識と思考法をもとにして、特定の時代・領域・テーマに的を絞った専門的な知識を習得して、英語圏的な思考法に対する理解をいっそう深めます。なお、イギリス文学史、アメリカ文学史、アメリカ映像文化史を内容とする授業は、「英語文学特論」のいずれかの枝番で開講します。

さらに演習科目の「英語学基幹演習」「英語学発展演習」「英語文学基幹演習」「英語文学発展演習」において、学生による発表と討論の実践を通して、概論系と特論系の授業で習得した概括的・基礎的および専門的な知識と思考法を活用して、英語学と英米文学ならびに文化を能動的・実践的に理解し、それぞれの学問領域に関する自己の主張を的確に表現する能力を育成します。

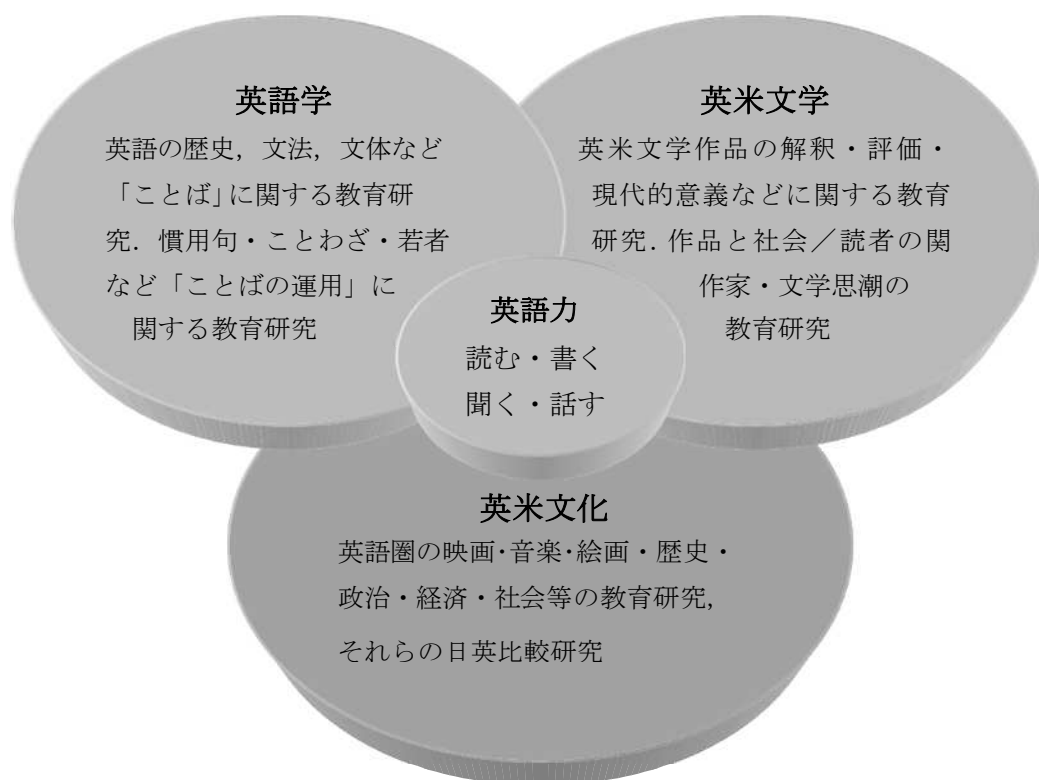
2. 英語学・英語文学文化を学ぶための基盤となる英語に関しては、日本人教員による文法・読解・プレゼンテーションの解説だけでなく、ネイティブ・スピーカーによるコミュニケーション主体の授業による実践的な英語教育を行い、「読む」・「聞く」の受容能力だけでなく、「書く」・「話す」の発信能力も向上させ、コミュニケーションスキルとしての英語を習得させて、バランスのとれた総合的な英語運用能力を育成します。

具体的な科目で述べれば、上述の概論系・特論系・演習系の科目に加えて、「英語コミュニケーション」「英語ライティング」「英米文化事情」において、英語のスキルおよび関連する英語圏の国々の社会等について、歴史的な問題から政治・経済・環境問題への取り組みなど現代のアクチュアルな問題も含めて幅広く、英語圏の国々の文化を学習し、豊かな国際感覚を育成します。

また、コースとして英語圏への留学を積極的に支援しており、留学した学生は、コースの密接な支援の下、英語圏の国々において、コミュニケーション手段としての英語運用能力を格段に高めるだけでなく、異文化を直接体験し、豊かな国際感覚を身につけます。

なお、本コースは少人数教育を旨とするため、教員が学生一人ひとりのその時その時の英語能力を把握することができ、学生一人ひとりに最適な教育を実施することが可能です。

※人文学部は教職課程認定を受けており、英米言語文化コースは、英語科の中学校ならびに高等学校教諭第一種免許状の教科に関する科目の主担当コースです。



【新任教員に期待すること】

信州大学の理念・目標，人文学部の理念・教育研究目標（※），および上記の英米言語文化コースのコンセプトに共感し，他の教員と協働し補完しあいながら，本学における英語学・英語文学および文化の教育研究に熱意を持って取り組んでいただける方を期待します。具体的には，以下の4つの観点を兼ね備えた方を望みます。

1. 高度な英語運用能力を持ち創造的で高度な研究を推進するとともに，大学・学部運営に強い意欲と情熱を持っている。
2. 英米言語文化コースにおいて幅広い視野のもと，他の教員と協働し補完しあいながら，学生教育に携わることができる。
3. 国際交流に関する事業に理解と関心があり，これらを積極的に推進できる。
4. 地域に対する貢献事業に理解と関心があり，これらを積極的に推進できる。

※信州大学の理念・目標，人文学部の理念・教育研究目標は以下の URL で御覧ください。

・ 信州大学の理念・目標

<https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/philosophy/mission/>

・ 人文学部の理念・教育研究目標

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/arts/guidance/aim.php>